二十三日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月　金六十錢
□郵税　金十五錢
□一部賣　金三錢
□廣告料一行　金六十錢
□雜報欄　金九十錢
□場所指定一行　金一圓增
□電話（平）七八六番
□振替口座東京一〇八・五八五
福島縣平市田町十六番地
發行所　磐城毎日新聞社
發行編輯兼印刷人　森合英

威を抜きにした愛撫は徒らに相手の失望と輕侮とをあがなふに過ぎぬ

（富永能雄）

閑伽井風

啓蒙運動の必要

（四倉）　三田村幸作

時局下國民の一部の無知なるものゝ疑問をとくためには如何にすべきであるか。種々なる方法が試みられて居るやうであるが、この地方に於てはまだ具体化な何らの方法も行はれて居ないと云つた方が妥當である，

そこで私は中等學校及び國民學校の教師方を總動員して、吾々市民の啓蒙にあたられん事を提唱する市町村にては農業技術員、水産指導員も含めて）教師が直接的に生徒兒童を敎諭訓導する一方、その余暇……恐らく十分なからうが……間接的に文章を通して、又直接的に講演會、又身近かに接近して居る私の如き人間に說いてかくの如き事故、吾々は今日かく〳〵の事をせねばならん、又かくの事はしてはいけないと指導して頂きたい。

今日大概の職業には一定の休日がある樣である。興亞奉公日に又は十五日ごと其他の職業でも雨天の日とか神日（一日十五日）とか休む樣である。この日を利用して、前述の先生又技術員が講演を聞くとか各自の實際生活の指導に當られん事を希望する、具体的なる方法としてはその市町村又は慣習等に從つて一律的に規定出來ないであらうと思ふ、一般的に言へば、農業であるなら前述の如く舊の一日十五日又は雨天の日は休みであるから、この日を利用して農業の技術員又は農業學校教師は直接自分の對象とせる農業者を何故吾々は生産擴充を行はねばならぬか、又農作物賣上金の一部を天引されて强制貯蓄せねばならぬかと敎へ、勞働力肥料共に乏しい現在如何にして生産擴充を行ふかを指導する事である、そうすれば〃肥料がなく又地下足袋の足らぬ今日增産を行へとは役人も無理な事をいふと云ふ〃批難もなくなるであらう、

木々高太郎と高田保（上）

野本明男

文藝銃後强化運動の目的で木々高太郎と高田保が近く來平講演する事になつた。

磐城文化協會でもこの機會を利用して座談會を開催して地方文化に清新な氣分を注入したいと高木氏なぞ非常に骨を折つてゐられる元來磐城地方はうるほひの不足した鄕土のやうに思はれてならないからから云ふ催しは結構だと思つてゐる。

木々、高田兩氏共あまりにも有名で今更紹介の勞もいるまいが思ひ出すまゝに走り書して見る。

木々高太郎は木名林タカシ（高篇に操の手篇をとつた字を合せた文字、普通の活字にはない）慶大醫學部出身の醫學博士で同校の敎授だ。年齡は四十五才位になるだらう、慶大出身の五十嵐博士（磐城文協委員）などは或は在學時代を知つてゐるかも知れない。私の記憶に誤りがなければ顔整形外科で有名な林熊男と云ふドクトルは氏のお父さんぢやないかと思ふ。餘談だが顔整形外科と云ふのは鼻を高くしたり頰をフクラせたり眼を大きくしたりする奴だ。元々お醫者さんなのだが文筆をよくし隨筆なぞ書いてゐる内に探偵小說に筆をすゝめて行つた、そのペンネームが木々高太郎なのである。お醫者さんの探偵小說家は前に亡くなつた小酒井不木博士があるが林[illegible]ら木々高太郎は[illegible]ら[illegible]ひは醫者[illegible]木々高太郎の作は一層本格的の探偵小說でこの作家のデビューした時は『新青年』の讀者ばかりでなく少くとも探偵小說に興味をてつ持ゐる者はアッと驚嘆の叫びをもらしたものだアメリカの探貞小說家として有名なヴン、ダインを想はせるやうな藝術の匂ひ高い精密な構想は現在に於ても第一人者であらう。『網膜脈視症』『迷走神經』その他の探貞小說があるどの小說だつたか忘れたが脚色されて舞台に上つたのもあつたと思ふ。

映畫評

〃流旅の人々〃

城木伊佐緒

葉山嘉樹作の小說を山形雄策の脚色で、元新興東京の新進監督高木孝一が第一協團と元新築地劇團のメンバーを總動員して演出したもの。南旺としては眞摯な企劃でたしかに注目に値する特異な作品であるが强ち成功したものではなかつた

物語は木曾のとある谿谷の水力發電所建設工事場が舞台であり、其處に集る土方の仁義的社會を描いたもので題名に示す通り、仕事場から仕事場へと流浪する人々の生活にピントを合したものである金柳隱居（薄田研二）の配下の世話役大川（槇村濤吉）が型通りの惡黨で事每に手下の者を威赫虐待し仲間の者には至つて嫌はれ者であるが花田（本庄克二）が「國家完遂のため」[illegible]的見地か[illegible]ばひ、大[illegible]對土方の正面衝突は避けられるが、工事場に飄然と現はれる葛原（河津清三郎）のために最後にその鼻を折られる。その中に葛原と老土方の娘（草島競子）の挿話を織り込ませて居り殺伐な特殊社會を描いたものであるだけに甘い描寫を極力避けたこの挿話が割合効いてゐる。

ロケーションも念入りに行つてゐるし、演出にも新進らしい情熱も感じられるが、流浪する人々の生活を狙つたものであらうが、重點には力を入れず筋が澁滯していさゝか退屈感がないでもない。

總じて俳優達は芝居がうまく、大川の槇村は惡黨そのもの、河津清三郎、草島競子いづれも無難であるが、中でも色田の本庄克二、老土方江部の石黑達世が一番光つてゐた。

力作、（上映一時間半）

送青沼平前市長歸隱

珠雲　小野務平

蹇々多年唯奉公　萬人惜別頌豊功
丹波丹後海山勝　罨畫樓臺偏待翁

贈猪瀨平市長

水師英傑挺忠肝　宿昔功名堪仰看
四萬輿望一何盛　心期市政百年安

小名濱玉川合併成

贈小野町長並宮内村長

町郡機構合同成　心肚融然見月明
排却萬難收美果　自治百歲福茲生

雜詠

（平）小磯操

街中を赤とんぼ飛ぶ霽間かな

（平）平子獨步

雨となり宵の祭の靜けさよ

梅雨晴

（平）中山朱穰

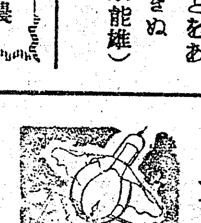
梅雨晴れや若きボブツリ洗ひ居り
梅雨晴れや若き妓未だねふげなる
梅雨晴れや下駄洗ふ妓の朗なる

異人劍法【63】

（[illegible]上演上映）

車谷弘

下山望東畫



木下闇（四）

巳之助の家の見當はついた。

新九郎に勘太達の一行は、一先づ程遠からぬ溫泉宿蔦屋の二階に押上つた。

障子をあけ放した二階から、各間の夕暗に沈んだ蓮臺寺村はまるで一目の見晴しだつた。

一行はこゝで一杯やると、忽ち元氣を盛返して、

『ぢやア先生……』

勘太はいちはやく腰をうかした。

『先生は御ゆつくり、こゝで行つてゐておくんなせえ。巳之助の野郎、骨の碎けるまで叩きのめしてぢきに歸つてめえりますから…』

『勘太』

『へい』

『くどいやうだが大丈夫か、もつと夜更けてからの方がよくはないか』

そう云ひ乍らも新九郎は、微笑を含んで盃をはなさなかつた。

『なアに細工はりう〳〵、此處まで來ちやアいくら好きな酒がひきとめても、こいつがね』

と脇差を叩いて、

『どうして落着いちやアゐませんや』

『そうか、よしつ』

と大きく頷いて、

『いよ〳〵となつたら俺を呼べそれまで俺はこゝでのんびり待たせて貰はう』

『どうぞ御ゆつくりと安心してゐておくんなせえ。おいみんな、さアもうそろ〳〵出掛けようぜ』

『合點だ、兄哥』

勘太達は、廊下を踏み鳴らしてドヤドヤと階段を降りて行つた。

うるさい一行が戶外へ出て行つてしまふと急に座敷の中は靜かになつた。山の湯の宿にとり殘されて、ひとり酒をたのしむなどは、新九郎、まつたく初めと云つてよい。

（先づこれで、いやな事に手出しをしなくてすんだ）

と新九郎は内心ホツとしてゐるのだつた。

彼理の黑船艦隊は、アメリカへ歸つて了つたが、下田港にはいつまた黑船が這入つてくるか分らない。だから黑船隱密の、新九郎の役目はまだ終つてはゐない。決してまだ油斷は出來ない充分大事をとるべきなのだ。

町の博徒の用心棒として、今まで巧に幕吏の眼をかすめてゐたがだがこの頃のやうに無聊では、流石に退屈をもてあまして、古傷が心の痛手が、想ひ出されてならぬのであつた

蔦屋の女中が顔を出して、

『おや、おひとりですか』

『お酌をいたしませう』

と大仰な表情で

『いや、よい』

と新九郎は獨酌の、德利をもつて手をふつて、

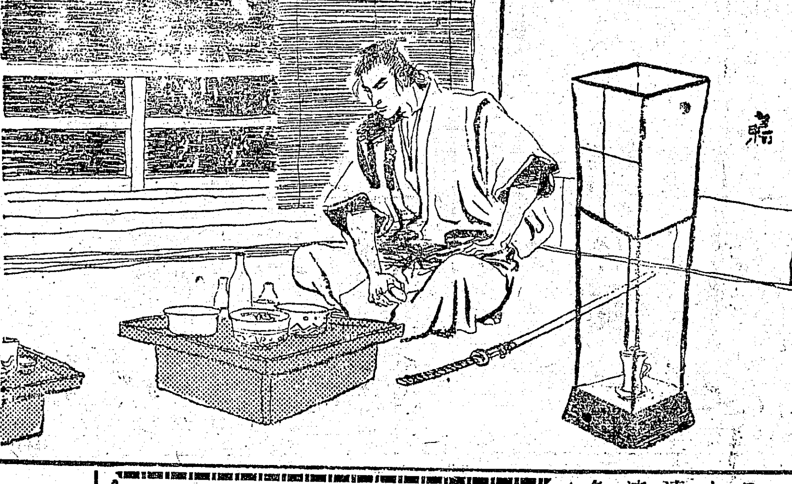
『かまはんから、うつちやつといてくれ、その方が有難い。それに今夜は大分忙しそうではないか』

『はい、今日は韮山の御代官樣江川のお殿樣の御三方お着きになつたのですから……』

『ナニ、江川の……』

思はず新九郎は、ギクリとした。

あわてゝ眼をそらして、夏の夜の野面を見ると、霧ににぢんだ湯小屋の灯の下を、勘太達の小さな影が、脚を速めて、巳之助の家に急いでゐるのであつた



洋服裁縫
女子見習10名募集
通勤ヲ可トス　平三電418
佐川洋服店

おでん
たつた揚
やきとり
一平
平市一丁目

小名濱唯一の
味の店
おでん
小料理
御會食御商談に
御利用を………
味の店
寶來

おでんとヤキトリ
田町末廣トナリ
一柳

御會食に
御商談に
割烹
幸樂
小名濱町幸樂通り
電話201番

外科一般、內臟外科
性病科、肛門病科
外科
木村醫院
木村淳
平市南町（警察署通り角）
電話三〇九番
▽入院應需△

㊅の削節
冷凍魚、鯨肉、ハム ソーセーヂ
海苔、鰹節、其他食糧品
新鰹節賣出し
日本水産特約
ヒノマル食品店
平市三丁目
電話三三八番

大衆向きの小口保險
三百圓より大口契約も
好條件で外交員募る
板谷生命保險株式會社
小名濱代理店
比佐政種

食事
喫茶
酒場
サロン
營業時間
○開店…午前十時より
○御飯は夜九時までに御願致します
○閉店…午後十一時限り
平市銀座街
電話五九二番

お醬油は
味噌、醬油
たひら正宗
鰹節、食料品
醸造元
山崎合名會社

立食
天婦羅
始めました
おでん
もつ燒
一平
小名濱町

ヒマーチ
五十錠入　一、一〇
百錠入　二、〇〇
德用罐　五、〇〇
特約店
平市五丁目
山野邊藥局

內科
小兒科
外科
性病科
看護婦及び女中募集
院長全快診療に從事
高久病院
院長　高久忠
副院長　赤羽清
藥局長　佐竹菊雄
平市田町
電五一三

新刊書籍
月刊雜誌
特價圖書販賣店
三英堂
村山書店
平市驛前中央通り

皮膚科
泌尿器科
性病科
江尻醫院
江尻伊三郎
平市田町
電六九一

ガソリン油
キカイ油
石油
輕油
測量器
製圖器
マスカリ
ハシ
モノサシ
平石油共同配給所
關內正一商店
平市・電話16

建築木材ノ御用命ハ
木材、天上板
ベニヤ板
建具材
木羽、建築材一式
便利瓦
織田材木商店
平市　電四九〇番
磐越東線赤井驛前
製材工場（大作場）電二三五

鳩尾加壓器
みぞおちかあつき
一、鳩尾を落すこと
胃腸は丈夫に動脈硬化が柔ぐ
保健の秘訣です
一、使つた其日からこれは効くぞと判るのが特徴です
製造頒布元…東京林健體本部
平市古鍛冶町一〇
頒布所
阿康藥局
電話四四番

國難克復祈願
皇太神宮參拜會
團体募集

一、期日　昭和十七年三月、拾月春秋，數回
一、行程　六日間、汽車一泊、旅館四泊
一、會費　金五拾八圓也
但し第一回申込金八圓也、第二回目より最終迄直接本部へ郵便振替ニテ拂ひ込ム事
一、日程
第一日…集合地　午後一時宮城前廣場…宮城遙拜…明治神宮…靖國神社參拜…晩食後東京驛出發
第二日…龜山にて辨當…午前九時過山田着…外宮內宮參拜…大神樂奉奏…晝食後二見浦見物…旅館宿泊
第三日…午前七時三十分宇治山田驛發…畝傍御陵前へ…御陵…橿原神宮參拜…橿原神宮驛前にて晝食…後一時發…奈良着後奈良見物（春日神社、大佛、鹿寄セ）旅館宿泊
第四日…午前七時奈良發…桃山御陵…乃木神社參拜京都へ…驛前にて晝食後京都見物…旅館宿泊
第五日…午前十時まで自由行動…午前十一時京都驛發名古屋へ…大津にて辨當…午後二時半名古屋着…熱田神宮參拜…名古屋城見學…旅館宿泊
第六日…午前六時名古屋驛發東京へ…沼津にて辨當午後二時半東京着後解散
注意
出發地より集合地までの汽車賃辨當は自辨の事
但日程、時間等は鐵道省の都合により多少變更あるやも知れざるにより豫め御承知置き願ひます
◎汽車、電車、自動車、宿泊料一切を含む、醫師及看護婦隨行
◎本會ノ趣旨書ハ申込所ヨリ御持參ヲ乞フ
特典
一、參拜出發の節は本會理事有爵者附添ひ監督下さいます
一、皇大神宮、明治神宮の御守札を拜受し會員個々に頒布します
一、記念品として有爵者の揮毫になる肉筆の額、或は掛軸一品宛差上ます
一、戰沒將士の御遺族には帝展入選畫の揮毫になる作品を差上げます又出征家族には別に記念の書額を差上げます
主催　日勝會
皇太神宮參拜會
東京市赤坂區新町五丁目四十三番地
振替口座東京三一五六番
電話赤坂（48）三八七七番
顧問　子爵　北小路資武
顧問　子爵　宇野正志
理事　子爵　有馬聰頼
理事　子爵　大久保忠春
常務理事　子爵　松室仁實
會長　陸軍中將　兩角三郎
福島縣內平市、石城郡外務主任
佐藤陽倖（平市古鍛冶町）
電（呼）五一二
申込所
新川町　田中宣治　電五六七
一丁目　和久井屋漆器店　電四〇五
三田小路　一の井　電一六七

證券報國
公債　社債　株式　賣買
商工省免許
磐新證券商會
平市白銀町九番地
電話七八六番

石炭小賣
迅速　誠實
多少ニ拘ズ御用命願ヒマス
磐新石炭店
平市白銀町九番地
電話七八六番
電話七八七番

▲男女車掌募集
平市四丁目
鈴木自動車部
電話二一七番

取締方針決定

家屋賃貸價格調査委員選擧

警察署で通牒發す

既報、來る九月五日全國一齊に行はるゝ家屋賃貸價格調査委員會は從來家屋税は縣税であつたものが税法の改正に依り十七年度から國税となつたため施行せられるもので、各市町村は投票及び開票事務を行ひ、その結果を税務署に報告し税務署長が選擧會を開いて最高點から十五名を市及郡から選出するものである、なほ二十一日市及郡內各警察署では選擧上に就き左の如き取締注意事項を各市町村長宛發送した

申合事項

△候補者、委員候補者たらんとするもの又は委員候補者として他人を推薦せんとするものは委員候補者の住居所在地警察署に其の住居職業氏名生年月日を屆出ること

但し立候補屆出は八月三十一日迄とす

△選擧事務長、委員事務所、選擧事務長選擧委員の選任又は事務所を設置せること

△文書圖書

1、候補者の挨拶狀は一回限り書狀に止むること、尙發送前に屆出警察署に提出すること

2、第三者の獨立運動は遠慮すること

3、候補者と意思を通ずる推薦運名は十名以內のこと

△選擧費用、選擧費用は極力節減し選擧終了後五日以內に屆出警察署に提出すること

△休憩所、選擧投票當日は投票所の附近に休憩所の類を設けさること

△選擧終了後の挨拶行爲、選擧期日後に於て選擧人に對し左の挨拶行爲をなさゞること

(イ)戸別訪問若は個々面接又は電話による通話

(ロ)文書圖書の頒布又は掲示（但し肉筆で自から認めた信書は差支なし）

(ハ)新聞紙又は雜誌の利用

(ニ)當選祝賀會其の他の會合

(ホ)氣勢を張る行爲

(ヘ)當選御禮の張札等は之を避くること

地租税免除

洪水による被害者

過般の洪水で被害甚しいものについて平税務署では地租税を免除することになり管內各市町村役場に通牒したが、これに該當する荒地及び收穫皆無の地主は至急本月末日迄に各市町村役場宛に免租を申請するやうにと

小名濱役場 更に增築

玉川合併で事務膨張

小名濱町役場は玉川村合併と併行して都市計畫施設も着々と進捗してゐるので、これ等事務の遂行に狹隘を來し現廳舍では收容しきれず改築案も先般話題となつてゐるが時局下資現困難の狀態にあり、過般も增築したが數ヶ月でふさがり、又應急處置として現廳舍西南方へ約十坪增築する事になり、產業、配給方面の激增せる町民の使益を圖る事となつた

口碑傳説

(7)

岩石傳説

疣なほし石

御禮には牡丹餅献上

磐城民俗研究會
石城郡誌資料

◎日和石、比石

双葉郡刈野村大字室原の金子森は一名雨ヶ峯ともいふがその頂上に高さ二丈五尺餘幅一丈二尺許りの巨石があり、稱して神の長倉石といふ。これを日和石と呼ぶのは人々がこの石を見て晴雨を判斷するからで　即ち白の時は晴黒の時は雨だといふ。又雲がこの石を覆へば急雨が來る。田村郡七郷村大字堀越に高さ三尺許りの石があるが、何か願事のある場合指で高さを計りその寸尺を覺えて、他の木なり草なりを同じ長さに折り取つて來てその石に當てゝ見て丁度同じ寸尺の時は願が叶ふ。今でも此事が行はれる石の附近に澤山の木の枝や萱等の散らばつてゐるのを見る。

◎乳石、疣なほし石

內郷村白水にある乳石は女の乳首に似て居て其處から水がしたゝり落ちる。これを飲めば乳の出ぬ人は出るやうになるが又此水を欲事に用ひてもよい。双葉郡木戸村岩澤にあるのも矢張り乳房に似て居るがこれを碎いて持つてゆき乳の出ないのを直すに用ひる。

疣をなほす石は各地にあり、內郷村白水阿彌陀堂にあるもの、大野村戸田の阿彌陀堂にあるもの、双葉郡木戸村北小塙にあるもの、好間村川中子の阿彌陀堂にあるもの、磐崎村白鳥の某寺にあるもの勿來の阿彌陀堂にあるもの大浦村日の出ヶ岳公園の小祠にあるもの等數へ來れば非常に多い。この石を借りて來て疣を摩れば疣が取れる。返す時は大抵石を一つづつ餘計にして且つ御禮に牡丹餅などを上げる様である。勿來のなどは新豆俵を上げるとの事だ。

◎龜の子石

泉村の或川へ龜に乘つて八幡様が降りて來られた。その龜は年へて死んだが川の中には龜形につくつた石が今に置いてある。

(6)化け石傳説

◎座頭石、やくじや石

座頭石は化けが石とも言ひ平第一校の北長坂の崖際にあつて座頭の姿に似てゐた。昔毎夜長坂に妖怪が現れて夜になると道ゆく人もとだえたが、或夜內藤侯の家臣某が通りかゝつて之を斬つた。翌朝みると彼の石に新しい刀痕がついてゐた。妖怪はそれから出なくなつた。やくじや石は草野村北神谷の醫師堂內にあつて獨コの形をして居り、これもよく化けると言はれたが今は殘つて居ない。

(7)名稱起原説

明傳説

◎生姜岩、茶釜石

大野村白岩松茸山にある奇岩は生姜に似た形であるところから生姜岩といふのだといひ又この附近に岩屋があり、昔玉山金光寺の住僧勝賀といふ人、火を出して寺を燒き寺寳を失つたのを恥ぢてこの岩屋に籠り坐禪して世を終つた、故に勝賀岩だとも言ふ。茶釜石は夏井村下大越白山神社の前田圃の中にある。釜の形をして中にくぼみのある石である。奈良朝時代の廢寺の礎石かと史家は言つてゐる

◎牛石、ペコ石

飯野村上高久神下の大日堂前につゞくまつた牛に似た巨石があるが大日如來が乘られるのださうだ。子供が指で押しても動き大人五六人がかりで押しても同じ程度に動く。傍に鞍石があるがこの牛につける鞍なのである。下小川村柴原の山の中腹にも牛石があり、茨城縣關南村にべこ石がある。このべこ石は牛に形が似てゐるばかりでなくこれに腰掛けると祟があるといひ近寄らない

◎八人石、岩城開元石、三函の石

十九夜の碑を建てるため夏井川より石を運ぶに八人で持上げる程の石を一人で持上げたといふその八人石が今でもある。開元石は俗に佛石と呼び平市八幡社西往來の北側にあつた。二つに折れ並立してゐたが岩城侯が岩城開元を錄したものといふ。後年侯が羽州に轉封の時運搬する事が出來なかつた。明治初年好間村の人々が請うて之を橋に使用したといふ。磐崎村三函山（湯岳）の頂上に大きさ一間半四方位の箱の形をした石が三箇あつてこれが三函山の名の起原となつてゐる。暴風雨のためその中の一つは湯本の方に轉つて今は二つだけ殘つてゐるらしい。

◎籠石、兜岩、燕石

夏井村菅波の奥にある籠石は籠に似た一丈許りの大きさの石で中がうつろになり一見籠の口を開いたやうに見える。田村郡小野新町の皮籠石の類であらうか。兜岩は勿來關趾西南にある奇岩で義家が通る時兜を懸けた岩といひ、燕石は閼伽井嶽の頂上本道を去る一町餘の所にある石で高さ一丈許り燕のまさに飛ばんとする姿に似てゐる。この石に坐して龍燈を見るによいといふ。舟石、鍋石、龜の子石もみな閼伽井嶽にある石でそれ〴〵形から名附けられたものである

豆債券

煙草屋さんから

けふ發賣

（既報）平煙草販賣組合では今二十三日市內各小賣店から豆債券發賣したが同組合の割當は一千枚で各小賣店平均九枚の少量であつたため午後には殆んど賣切れた

今冬の木炭は?

供出軌道に乘り出廻り潤澤か

官行薪炭材も增加

今冬の木炭は一般に品不足を豫想し夏期の貯藏に力を注いでゐるやうだが、最近東京方面へ入荷してゐる木炭數量は前年の夏期に比較すると二割以上增加し木炭供出は軌道に乘つて來た、從つて今冬の木炭は中央、地方を問はず相當潤澤に出廻るものと樂觀説が傳へられてゐる

……◇……

平營林署では民間の炭材不足を補ふため今年の薪炭材拂下げ數量は前年に比し二割增の十二萬三千石と決定、契約を進めてゐる

……◇……

平營林署で拂下げる十二萬三千石の炭材から約五十萬俵製炭されることになり、平市內六千戸へ一ヶ月三俵平均に配給するとして一ヶ年に二十萬六千俵で足りることになり、營林署で拂下げる薪炭材の地方に供與する利益は頗る大きい

……◇……

この外營林署が直營の官行製炭は一ヶ年八萬俵に上り、民間製炭と異り季節を問はず春夏秋冬を問はず製炭に從事してゐるから、民間で炭を燒かぬ夏場にも炭を出し相當民間を潤ほしてゐる

文藝銃後座談會

文化部員も臨席

來る廿六日の文藝銃後講演會は早くも各方面の人氣を呼んで當日の盛況を豫想されてゐるが講演に先立つて午後二時半から常陽銀行樓上で行はれる磐城文化協會主催の座談會は親しく講師の木々高太郎高田保氏時を圍んで銃後の文藝運動その他に就いて質問應答を重ねるので期待をかけてゐる向が多い、文協では會員以外の參加も希望してゐるから遠慮なく申込んでほしいといつてゐる。なほ大政翼贊會文化部長岸田國士氏からはこの座談會に文化部員小場瀬卓三氏を出席させる旨本二十三日文協宛通知があつた

砂糖切符調べ

學生さんの歸省から

本月は不足勝ち

平市では來る二十五日本月分砂糖を配給するが今回は一人平均八十匁である

なほ本月は各學校が夏季休暇のため歸省してゐるもの相當あるので市ではこれ等の人々へも配給することになつてゐるが砂糖割當は前回同様なので相當不足することになる關係から今回は特に隣組長を通じ配給切符の人員を調査して不正の配給を押へてこの方面に振向けることになつた

野菜不足の拔穴

◇……當局の"斷"を要望

過般の水害で約八割九分まで全滅に瀕した本郡下の畑作はこゝ十數年來の野菜饑饉を招來した、このため家庭台所の惱は依然として野菜であるが一方市民の供給者たる平靑果組合では殆んど地元野菜の出廻りなく昨二十二日は僅か野菜リヤカーに二台、梨一合その他榊少量で八百屋さんも飯にならず比較的水害程度の低い會津方面の山間部からの入荷をまつ形となつたがこれも公定に頭抑へられ運賃その他でこれ以上同組合犠牲になること出來ず地方畑作の回復を待みにして休業狀態に至つてゐる

この現狀にあつて各家庭では全く野菜不足に弱り切り最近では直接市外農村に押掛け殆んど"闇"取引しまた早朝平神橋、平橋、磐城橋附近にお神連中が詰掛け市內の行商にくる百姓から横取(?)するものさく現れ不足に加へ更に流入する野菜を堰止めするので一般市民はことごとく惱されてこれ等"闇"に對してはこの際當局の『斷』を望んでゐる

礦業所長更迭

磐炭濱崎所長本社へ

內郷村大字綴磐城炭礦礦業所長濱崎善三郎氏は今回設置された勞務部長兼東京本社總務部長榮轉した、なほ氏の後任は鶴田勝三氏が同新礦業所長に就任した

社會事業 懇談會

縣並に財團法人縣社會事業協會主催社會事業連絡統制協議懇談會は來月三日午前十時から平市公會堂に開くが參集者は濱三郡下社會事業從事者、方面委員、市町村長、同吏員である

なほ同懇談會は社會事業の緊要性に鑑み今後一層關係者の連絡を親密化せんとするもの

郡內 初秋蠶出廻る

平坦地方は廿五日ごろ上簇

本郡山間部川前、永戸、三坂、澤渡方面の初秋蠶は蠶況極めて良く今二十二日から市場に出廻り初取引されたが一方平坦地方は現在五齢四日で二十五日ごろから上簇始まるが蠶況は山間部と共に豐繭で水害に依る減收以外は順調な成績である

國債の賣行

僅か三枚

平局初日の窓口

利札附並に割引國債は昨二十二日各郵便局から賣出されたが平郵便局初日の賣行は成績惡く窓口僅か十圓券三枚でこの外豫約濟みの賣却三百圓程度であつた前日の"豆債券"は五十分足らずで割當の四十五枚が羽のついたごとく賣切れたのに引換へ恒久的貯蓄向きの國債は最近思はしくなく局でも今度は各戸を訪問割當額の消化に努めることになつた

出廻一千貫

四倉市場の初取引

四ツ倉繭市場の夏繭初取引は今二十三日山間部方面からの出廻りあつて行はれたが取引貫數一千貫相場は平均六十掛けで前年に比すると水害の關係からづつと減つてゐるが明二十四日は一千三百貫出廻る筈で品質極めて良く今年出廻り豫想は前年から二、三割減の二千五百貫見當と見れてゐる

なほ四ツ倉市場は秋繭まで閉鎖せず引續き開場取引を行ふことになつた

けふ平市常會

（既報）平市常會は今二十三日午後一時から市公會堂日本間に開き約六十名出席縣から郡協力會議に臨席した相野田總務部長、井上社會課長渡邊商工課長等出席、伊藤助役を座長席に會議を進めた、なほ提出事項次の通り

△興亞奉公日に關する件△水害對策に關する件△道路及河川愛護に關する件△「生活改善實踐要目」實踐强化に關する△農耕馬對策に關する件【要望事項】△その筋に上通事項（新川改修促進、同川制水門施設、向鎌田地內國道切下げ）△區內會に要望事項（常會時間勵行、防諜の注意榮養食講習會、國債消化、紙芝居利用隣組の防空、時局問題大講演會開催）【各區內よりの要望事項】△水害復舊に關する事項△配給に關する事項

◎◎◎◎即金買上

あすから公會堂で

（既報）戰時物資活用協會では縣及平市の後援を得て明廿四日から廿六日迄公會堂日本間に午前九時から午後四時まで金銀及白金の買上げをする

之は申告した者でもしなかつたものでも差支へなく金、銀、白金所有者は何れも賣却出來るが市ではこの際一人殘らず全部賣却するやうこの程回覽板を通じ呼掛けたが即金買上値段は前回通りである

再編成を協議

けふ鐵工業者の集ひ

臨戰体制の强化と機械工業整備は現下の情勢に處し最も急務とされてゐるが縣鐵木工品工業組合聯合會では今二十三日午後一時から平市會議事堂に濱三郡下關係者を集め縣から商工課佐藤主事補外二名臨席、機械工業組合の再編成、企業統合問題などについて協議會を開催した

貯蓄組合

けふ四倉で申合

四倉町では今二十三日午前八時より各區內會長並に隣組長を國民學校禮法室に集めて組合貯蓄獎勵に關する打合せ會を開き組合貯蓄額達成に邁進することに決定した

赤痢又收容

好間村小館二十五の一古河炭礦勞務係中花辰造妻菊江さん(三〇)は二十一日發熱したが平保健所で診斷の結果赤痢と決定直ちに平市隔離病舍に收容した、最近傳染病の發生多くこれで同舍の收容患者は十一名となつたため市衞生課では特に發生個所の消毒を嚴重にしてゐる

子供常會で

五圓献金

小名濱町横町子供隣組白土キヨノさん外十一名は廢品を回收賣却した金五圓也を町銃後奉公會へ寄附した

幼兒溺死

久の濱海岸で

双葉郡久之濱町字南町六八製材職工阿部兵次郎二男巌(四)は今二十三日午前八時三十分頃自宅で姉初枝さん(七)と遊んでゐるうち同家裏の海岸で巌が激浪に浚はれて居ないのを發見、大騒ぎとなつたが同九時ごろ捜査中死体となつて發見された

書類送局

上遠野運轉手

去る二十一日大浦村上仁井田地內で幼兒を即死させた平市平四倉間乘合自動車方運轉手上遠野幸昇(二三)は昨二十二日で取調が修了したので上遠野を一先づ保釋したが書類は今二十三日平檢局に送つた事

傳染病六名

小名濱町で豫防注射

小名濱町では暫く傳染病の根を絶ち隔離舍を閉鎖して居つたが八月に入つてから腸チブス及び疫痢が發生し現在六名收容して居り發生系統も他所より背負込んだ惡質のもので町役場では豫防注射藥を購入し一般町民に强制注射を施行する手筈になつてゐるが、これからが漫延期節なので食物衞生に注意するよう示達する筈である

視察

農林省太田技手は來る二十七日ごろ四ツ倉並に九面港を視察

出る『盆酒』

一戸平均五合

)(…八月も下旬、蟬の聲も何んとなく初秋らしく「お盆近づく!」の感深いが平税務署では"田植酒"に續いて本月下旬から來月初旬に掛けて"お盆酒"を配給する事になり準備を進めてゐる

)(…今度配給する"お盆酒"は大体一戸五合見當で本縣會津から九十石の"お盆酒"が廿六日ごろ到着することになつてをり配給は同署管內十支部でそれ〴〵行ふことになつてゐる

)(…尙この外管內各釀造元からも清酒倉出する筈で配給方法並に配給量も近く決定するが正月酒の一戸一升に比較すると配給量は半數である

【巷の噂】夏の夜ばなし

【臆病なナイト】

去る蒸し暑い宵の九時頃、所は市內梅ケ町に起つた珍事

×　×　×

うら若い女がすそを亂して助けを呼びつゝ飛んで來る、とらへて事情を聞くと、今、社の森に人殺しがあつたと云ふのだ友の二、三と驅つけると確かに大の男が倒れてゐる、懷中電燈を照して見ると……こはいかに、何處にも傷らしい跡が見られない、抱え起すとやつと生氣を取もどした、件の男は『實は此處まで來ると突然頭上をゴツンとやられると氣が遠くなつて了つたのです』と云ふ

よく〳〵調べると、涼味を求めて若い彼と彼女が夏井川畔の土手の語らひもようやく盡きての歸途、齢令三百年の銀杏の實の惡戯だつたと云ふ、

何と賴りない戀の相手であるよ?

おちの良い
マルミ粉石鹼
平市材木町二
製造元マルミ本舗

今晩の
オジラ

(二十三日夜の部)

◆六・〇〇 (AK)日本行進曲集(一)黒潮(二)大平洋行進曲(三)ラジオ行進曲(四)觀艦式行進曲 東京放送管絃樂團 (HK)ハーモニカと唱歌 宮城野校、西多賀校兒童△シンプン

◆六・三〇 「日本民族の生活能力」文博 高保馬

◆七・二〇 政府の時間「時局下の新聞」日本情報局第四部長

◆七・四〇 輕音樂 後藤純、外

◆八・〇〇 連續ラジオドラマ「人生劇場」(第一夜)尾崎士郎原作、高田保脚色、島田正吾、二葉早苗、辰巳柳太郎、外

◆八・五〇 海の短篇朗讀(一)義足と水泳(深海峰一作)(二)航路標識(西方黎作) 岡本放送員

◆九・〇〇 浪花節「倉橋傳助」篠田實

商況

(二十三日)

【野菜】

南瓜	六、錢
ナス	五、錢
トマト	五、錢
胡瓜	六、錢

【鮮魚】小賣値

鰹	二五、〇
スズキ	七五、〇〇
ホツキ	五〇、〇〇
クロガラ	二五、〇

天氣豫報

今晩　北東の風晴れ後曇り

明日　北東の風晴れたり曇つたり

(二十四日)

滿潮 前四・三五 後[illegible]　干潮 前一一・[illegible] 後[illegible]

希望者履歷書持參面談
女學校卒業程度十七才以上二十五迄
內勤女事務員至急招聘
野村生命支部
南町壹番地　電話七四八番

佛具一切
例年の通り陳列致しました
お通りがてら御覽下さい
丸ほん商店
平市三丁目電三五九